

ドナウ川を挟んで王宮の丘ブダと国会議事堂を中心としたペストの街並み。

ハンガリーの首都、ブダペストはそれらブダ地区とペスト地区、さらに両地区を結ぶ橋によって構成されている。両地区の印象はそれぞれ対象的であった。

ブダ地区はドナウ川沿いから小高い丘となっており、王宮はその丘の稜線に沿って建っている。さらにドナウ川から離れるに従って数々の丘が続く。

対するペスト地区はそれとは対照的に平坦な地形で形成され、国会議事堂、市民公園、美術館、中央市場などといった市民の生活の場となっている。ペスト地区に位置する英雄広場から国立オペラ座や聖イシュトバーン大聖堂などが点在するアンドラーシ大通りの街並みをしばらく歩き、両地区を結ぶくさり橋に出ると、それまでの街並みとは一遍し、とうとうと流れるドナウ川やくさり橋越しに見る王宮の丘ブダのパノラマが目の前に開け、一連の導線を通して非常にドラマチックな街並みであるように感じた。

さらに夕景から夜景にかけては昼間とは一遍した表情を見せ、街並み全体が時間を追って徐々にライトアップされていく様は、今までに見た事もない素晴らしさであった。

